

大阪城ケアホーム 奉仕茶会

九月二日、大阪城ケアホームにて、なにわ津青年部大阪城ケアホーム奉仕茶会が行われました。

三月に行われた合同茶会以来、私にとってはこれが二回目のお茶会となりました。

いつものお茶室で行われるお茶会とは雰囲気も異なり、多少リラックスしてのぞめるかと思いましたが、やはりいつもどおり、緊張したまま始まってしまいました。

三つのテーブルにわかれ、それぞれのテーブルで盆略手前をさせていただきました。お茶会でお手前をするのは数えるほどで、今回はいつも以上にお客様の視線が熱く感じられ、頭の中が真っ白になりながらお手前をさせていただきました。

はじめはこちらから点てたお茶をお出しするだけでしたが、中には昨年のごことを覚えておられる方もいらっしゃり、「今年は体験はないんですか？」私は今年から参加させていただいている為、詳しくはわかりませんが、昨年はお客様自身にも茶筌をふってお茶を点てていただいたそうです。



そのほんのひと時を覚えていらっしやうです。このお茶会は私たちにとってもお客様にとっても意味のある一日であることを、あらためて感じられました。もちろん、今年も「体験」を行いました。

私自身、結局、終始緊張しており、先輩方のように楽しくお客様とお話もできず、正直なところ、申し訳ない気持ちにもなりましたが、これもまた貴重な体験だったと思います。

来年以降もまた行われるのであれば参加したい、そんなお茶会でした。ありがとうございました。

足立 哲也

佳吉大社献茶式

彼岸入り後まだまだ蒸し暑さも残る中、坐忘齋御家元

様による佳吉大社献茶式が執り行われ、その副席を天神・なにわ津両青年部が務めさせていただきました。

御家元様には第一席目にご臨席賜り、秋空の色の花入、そこに活けられた佳吉大社創建にもちなむ鷲草など、室礼にまつわる印象をお話し下さりました。半東とのなごやかな会話は点て出しの碗を運ぶ者の耳にも入り、その緊張を解きほぐされるものがありました。

お席が終わった際、青年部一同で御家元様を囲んだ記念写真を撮影して頂きました。またその席の水屋には業跡先生がお越し下さり、ユーモアを交えながら水屋全体の動きへのご助言を賜りました。そのお陰でその後の席もスムーズに運べたと存じます。

一日を通して大勢のお客様においで頂き、初秋をイメージして取り合わせた道具についてお尋ね下さるなど、お茶を介するならではのお話しも出来ました。

親先生方のご協力があってこそ務められたお席ではありましたが、お客様からねぎらいのお言葉を頂戴するなど、今後の励みになる体験を積むことが出来ました。有難うございました。

稲葉 基子

なにわ津茶会

お茶会当日は台風が接近しており、大変な一日になる予感のした朝でした。

来年で天神青年部となにわ津青年部が合併し、なにわ津の名前でお茶会を行うのが最後になる為、なにわ津青年部の卒業生の方と現役会員の合同でお茶会を行う運びとなりました。



お茶会では、濃茶席を卒業生の方が席を持ち、現役会員で受付・案内と薄茶席、点心席を行う事となりました。今回のお茶会で使用させて頂いた四天王寺では、濃茶席を離れのお茶席で行う事となり一度外への案内が必要となりました。当日、私は案内の役割でした。その為特に天候が気になりお茶会が始まった時雨風はまだ無かった為、一日どうか天候が持ち、台風がそれ

ることを願っていました。お茶会が始まるとお客様も台風の影響が出にくい朝に多くの方がいらっしやいました。一席、二席と天候はもっていましたが、徐々に天候が悪くなり、雨が降り始めると風も出てき始め、お昼前には雨風共に強くなり道は川の様になり、お茶室への案内は朝と違う道を通らざるを得なくなりました。天候の悪い中で案内であった為、申し訳ないと思いつながら案内を行っていましたが、「大変だけど忘れられないお茶会になる」と笑顔で多くの方が仰って下さり、大変であればあるほど雨や嵐でもその中楽しむことが出来るお茶会を行うことが出来れば思い出に残るお茶会が出来るという実感がわきました。

雨風の中のお茶会は始めてでしたが、そういった中でしか分からない多くの事が学べたと思います。ありがとうございました。今後もし指導ご鞭撻よろしくお願ひ致します。

横川 正義



DLC 大日本倉庫株式会社
DAINIPPON LOGISTICS CORPORATION

〒581-0085 大阪府八尾市安中町4丁目8番18号
電話：072-991-1312 FAX：072-994-2417

※お茶専門店「りゅうほうえん」

『京の老舗』

体芳園®

〒610-0255 京都府綴喜郡宇治田原町郷ノ口本町97番地
TEL 0774-88-2038 FAX 0774-88-5165